

楠浦

陸上

クラブ

発見
地域のお宝

スポーツだけじゃない、
総合人間教育に力を注ぐ、楠浦陸上クラブの活動を監督の大神靖さんご自身に語っていただきました。

地域と育む

平成12年7月に現在の監督である私
が楠浦公民館に赴任して来たのを機
に、地域より陸上の指導を依頼され、
10月にクラブを設立しました。
陸上競技を通して、
「人の話を良く聞ける」
「交通規則を守る」
「心から挨拶ができる」

また、運動が苦手だった子どもが、
マラソン大会で上位入賞、陸上以外の
競技でも、バスケの補欠選手から
正選手へ選ばれるなどの成果や、スポ
ーツ以外でも勉強の成績アップなど
を果した子どもも多く、陸上競技を
通じて得た「自信」によって、「苦手」
としていた事柄にも前向きに挑戦す
る気持ちの後押しを行う指導が出来
てきたと感じています。
走ることは簡単が、まだ面白みの少な
い苦しいスポーツであるように思わ
れますが、これが得意になると周囲の
目も変わり、なにより自分自身が何事
にも自信を持って臨めるようになって
くるのです。だから走ることで
すが、陸上競技を真に輝ける人づくりを
行いたいと思っています。
これまでの活動が実り、クラブの人数
希望者が増え、一人一人に合った細や
かな指導ができていくようになっていま
すが、この先も、出来る限り「走る」に

「食生活の重要性を体験する」等、集団生
活体験を通して、子どもたちの健全育成
に寄与する事を目的としました。

生涯学習

ゆとり教育(学校週二日制)の始まりによ
り、子供たちを土曜日は地域で育てなけ
ればならなくなった時に、その核となる
陸上だけでなく道路沿線の花壇の手入れ
や自治公民館の清掃、登山、キャンプ、英
会話教室などを交えて指導し、子供たち
の成長の手助けを行い、地域の生涯学習に
大きく貢献してきました。

「自信」を持つこと

スポーツ指導員の資格を取得してから
は、県大会への参加も積極的にいき、上位
入賞も数多くありました。

とが「苦手」な子どもたちには、多くの
「手をかけ」て「楽しさ」を教え、「得意
な」子どもたちには全国高校総体や箱
根駅伝等の「夢」を持たせ、今その限ら
れた瞬間をのびのびと生きることの手助
けを行っていきたいと思います。

(文 監督 大神靖)

監督：大神靖 コーチ：山下
将近・濱 いち子・山田 裕己
会員数：小学生50名中学生8名
主な活動内容

- ① 子供たちの健全育成の支援(ポラント
イア活動等)
- ② 子供たちの研修(キャンプ・料理講習)
- ③ 各種スポーツ行事への参加

○練習場所
楠浦小学校グラウンド

○練習時間
毎週水曜日 午後6時から(12月か
ら3月までは休止)
毎週土曜日 午後4時から(暑さ対策
のため夏休みは5時から)

○年会費
5,000円(保険料800円含む)

※今年度の募集は締め切りましたので、今後の入部は次年
度までお待ちいただきます。

